

業 種	バス
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	ヒヤリ・ハット情報の提出促進と有効活用に関する取組み
取組の狙い	ヒヤリ・ハット情報を率先してシェアする風土の醸成と、提供された情報の全社的共有による事故防止への活用
具体的内容	<p>東急バス株式会社では、ヒヤリ・ハット情報の提出促進と有効活用を目的として、以下の取組みを実施している。</p> <p>1. 「ヒヤリ・ハット・シェア大賞」の開催</p> <p>日常業務に潜在する「ヒヤリ・ハット」は、その危険要因を洗い出し、事故の未然防止につながる有益な情報であることから、平成 26 年度末に「ヒヤリ・ハットコンテスト」と称して全社的にヒヤリ・ハット情報を収集する取組みを試行した。その結果を踏まえて運営方法等を見直し、課題であったヒヤリ・ハット情報の提出に対する抵抗感やマイナスメージを払拭し、自身のミスや危険な経験を率先して発信、シェア（分かち合う）する風土を醸成すべく、「ヒヤリ・ハット・シェア大賞～危険予知活動の一環として～」と名称を改め、平成 27 年度末（平成 28 年 3 月 28 日）に開催した。今後も引き続き、年度末（3 月）を目途に開催する予定となっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>本社役員はじめ、本社・現業の従業員多数が観覧</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>各営業所の管理者と乗務員が映像をもとに発表</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>最優秀事例は経営トップが表彰</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【参考】平成 27 年度優秀事例のドライブレコーダー映像</p> </div> </div>

2. 冊子「輸送の安全性向上のために～命を運ぶ、その責任と誇り～」の作成・配付と、映像を用いた乗務員教育への活用

従来から従業員教育用に作成していた安全関係資料（運輸安全マネジメントの手引き、事故統計、各種初動マニュアル等）に昨今の社内外の動きを反映させたうえで整理・統合し、事故の未然防止・危険予知の素材として上記「ヒヤリ・ハット・シェア大賞」の題材となった12事例を盛り込んだ冊子を作成し、全従業員に配付した（平成28年12月）。これに加え、各事例のドライブレコーダー映像をDVD化して各営業所に配付し、冊子の内容とともにチーム会議（小集団活動）や事故防止研究会等を通じて従業員への教育に活用している。



2016(平成28)年版『輸送の安全性向上のために～命を運ぶ、その責任と誇り～』
ヒヤリ・ハット事例を用いて危険予知トレーニング(KYT)に活用できる構成としている。

取組の効果 以前は、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、営業所によるバラつきが大きく、報告される件数も多いとは言えなかったが、本取組みの実施により、「①各営業所でのヒヤリ・ハット情報の収集」→「②営業所内での振り返り・応募事例の投票」→「③シェア大賞での全社共有」→「④乗務員教育への活用」という流れが体系化され、全営業所でのヒヤリ・ハットに対する取り組みレベルが向上・平準化された。

また、ヒヤリ・ハット情報の報告に対する乗務員のマイナスイメージ払拭に加え、乗務員教育への活用により、乗務員の危険予知能力向上に寄与している。

事業者名 東急バス株式会社
(連絡先：安全企画部 電話：03-6412-0169)